

公益財団法人 日本財団 御中

# 2018年度 海のそなえ推進プロジェクト 実施報告書



海のそなえソーシャルアクションプロジェクト実行委員会

# 目次

1.	海と日本プロジェクトとは	…03
2.	海のそなえ推進プロジェクトとは	…04
3.	プロジェクト実施概要	…05
4.	プロジェクト実施詳細	…06
	(1)海のそなえ体験イベント「海ロデオ」事業	…07
	① 鎌倉	…10
	② 片瀬東浜	…15
	③ 勝浦	…20
	(2)ライフジャケットレンタルステーション事業	…23
	(3)自治体・学校連携事業	…24
	(4)朝日新聞出版連携事業	…29
	(5)WEB事業	…33
5.	制作物	…35
6.	PR活動	…43
7.	事業掲載媒体等	…48
8.	アンケート集計	…50
9.	考察	…55

# 1. 海と日本プロジェクトとは

海と人と人をつなぐ。

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、  
ときに心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。  
そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、  
子供たちをはじめ全国の人たちが「自分ごと」としてとらえ、  
海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、  
日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の旗振りのもと、  
オールジャパンで推進するプロジェクトです。



## 2. 海のそなえ推進プロジェクトとは

海のそなえソーシャルアクションプロジェクト実行委員会は  
**「子どもの水難事故をゼロにする」**ことを目標に  
知識のそなえ、行動のそなえ、装備のそなえを軸として様々な取り組みを実行しています。

### 海のそなえ推進プロジェクトでは以下の事項を実施します。

- **教育現場のすべての人が「そなえ」を学ぶ、受講する、身につける**
  - **育児世代のすべての人々が「そなえ」の重要性を知る**
- **楽しい水辺の体験からすべての親子が、「そなえ」を体感し、身につける**
  - **海辺の親子のスタイルを変える**

### 海のそなえ体験イベント「海ロデオ」、ライフジャケット貸出の実施

〈対象：親子〉 〈知識のそなえ〉 〈行動のそなえ〉 〈装備のそなえ〉

「危ないからそなえて」ではなく、「そなえたら100倍楽しい」をメインメッセージに据え、海での体験を通じて「海のリスク」となりうる「要因」を学んでいくプログラムを日本ライフセービング協会、鎌倉ライフガードの監修の下制作。300人以上の子どもが体験、学んだ。

### ライフジャケット寄贈及びそなえ講座の実施・自走支援（自治体・学校連携）

〈対象：教育現場、子ども〉 〈知識のそなえ〉 〈装備のそなえ〉

子ども、親世代・教育者にそなえの重要性を伝えるには、学校・自治体は非常に重要である。そのため、本事業の趣旨に賛同をしていただける、自治体・学校へのライフジャケットの贈呈（夏の体験イベントで使用）及び、そなえを楽しく学べる講座を学校で実施した。また、複数の学校に広げられる様取り組んだ。

### 朝日新聞出版社との連携事業による親・育児世代への訴求

〈対象：親子、教育現場、育児世代、大人〉 〈知識のそなえ〉 〈行動のそなえ〉

子ども、親世代に広く訴求するため、同世代に訴求力の高い媒体を持つ朝日新聞出版社と連携して「子ども、育児世代への訴求」を目的とする活動を実施。朝日新聞出版社が主軸となり、育児世代へのアンケート、記事化等を行った。

## 3. プロジェクト実施概要

### 海のそなえ体験イベント「海ロデオ」、ライフジャケット貸出の実施

#### ① 鎌倉材木座海岸

日にち：2019年7月31日から8月2日

協力：鎌倉マリンスポーツ連盟、OKUDA STYLE SURFING、NSA湘南鎌倉支部  
鎌倉アウトリガークラブ、NPO法人パラギ、材木座テラス、HONEY SURF

参加者数：延べ300名程度

#### ② 片瀬東浜海岸

日にち：2019年8月22日、23日（23日は荒天のため中止）

協力：東浜海浜組合、西浜ライフセービングクラブ

参加者数：延べ20名程度

#### ③ 串浜海水浴場

日にち：2019年9月21日

協力：海のお仕事体験図鑑プロジェクト、西浜ライフセービングクラブ

参加者数：約10名程度

### ライフジャケット寄贈及びそなえ講座の実施・自走支援（自治体・学校連携）

#### ① 稲村ヶ崎小学校

日にち：2019年12月11日

協力：鎌倉市教育委員会、鎌倉市立稲村ヶ崎小学校、海の寄席プロジェクト

参加者数：37名

※なお、自走支援として実施・展開を鎌倉市教育委員会と検討していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、進行が困難となった。

### 朝日新聞出版社との連携事業による親・育児世代への訴求

#### ① AERA with Kids 2020年夏号（4万部）

「学びのプロと安全のプロに聞きました！子どもを伸ばす海遊び＆海に行く前に知っておきたいこと」

#### ② AERA 2020年6月15日号（8.7万部）

「海に行けない今だからこそ！2020年海を知る・学べるプロジェクト」

#### （参考・自発編集記事）③ AERA 2020年7月6日号（8.7万部）

「体力低下」「監視員なし」で今年は特に要注意 海離れが招く事故リスク」

## **4. プロジェクト実施詳細**

### **(1) 海のそなえ体験イベント「海ロデオ」事業**

## 4. プロジェクト実施詳細 (1) 海的那え体験イベント「海ロデオ」事業

### ● 海的那え体験イベント「海ロデオ」とは

海ビギナーでも挑戦できるライフジャケットをつけた  
“安全を体感できる海的那え”を海の特徴を生かし（※）  
各地域団体と連携して複合的に展開する夏の体験イベント。

ライフジャケットの体験機会を創出するとともに  
そなえれば海的那えは楽しいを実感することで  
参加した子どもと親自身が海的那えを自分ゴトとして捉えることができる。



そなえを効果的に知ることのできる海のキーワード  
→ 「リスクの要因」となる海の特徴を遊びを通じて学ぶ



#### 波

波を知ること、水際のそなえ方を知る一歩。  
子どもの事故は水深1m以内で起きる。  
波のメカニズムを正しく知り、体感することでそなえを学ぶ。

(例：ボード遊び、ボディサーフィン 等)



#### 風・潮流

風は波を起こし、潮の流れを変える、勢いを変える。  
風や潮の流れを体感できる遊びを通じてそなえを学ぶ。

(例：ウインドサーフィン、SUP 等)



#### 岩場・生き物

取り組みやすく、普通に海水浴をするだけでは出会えない海の景色に出会える岩場・磯遊びだが危険は多い。  
そなえてこそ、こんなこともできる、を学ぶ。

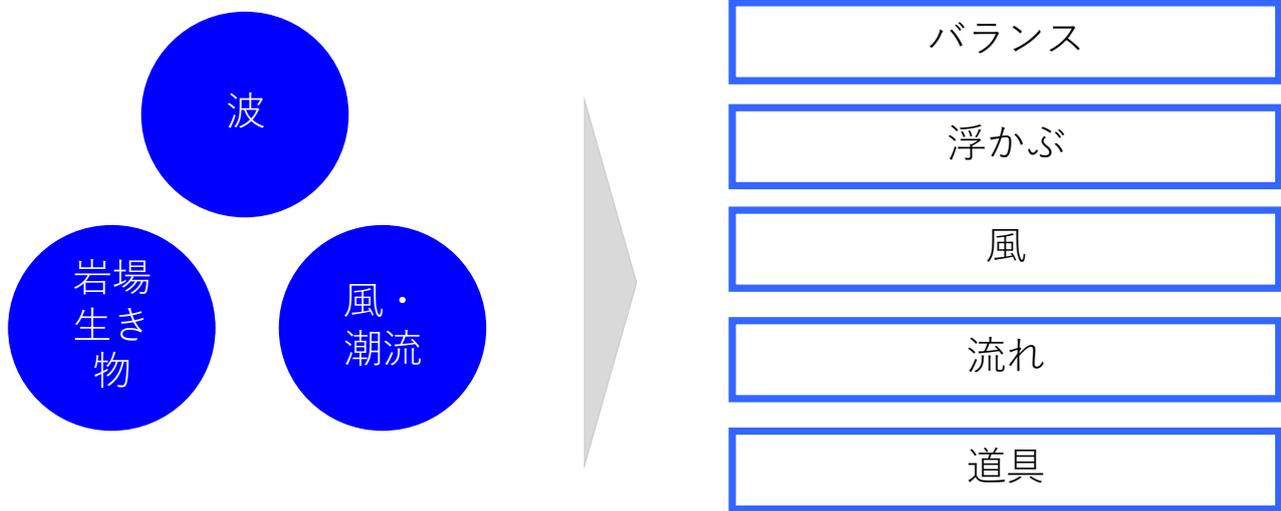
(例：磯遊び、シュノーケリング等)

# 4. プロジェクト実施詳細

## (1) 海的那え体験イベント「海ロデオ」事業

### ●海的那えを学ぶ遊びのキーワード（考え方）

そなえを学べる海の3つの要素を、子どもたちの学びにも繋がりがやすい5つのキーワードに展開。5つのワードアクションを元に“海ロデオ”を設計。



以下、そなえ遊びの一覧（一部）。それぞれの遊びを体験した子どもたちが遊びを通じて、海を知るキーワードを学び、「そなえポイント」を学べる仕立て。

遊び	キーワード	学べるそなえポイント
ボード遊び	地形、流れ、道具、浮かぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスよくボードに乗れても、波や風が来ればボードから落ちてしまうね。</li> <li>・波や潮の流れはすぐに変わる、風でも、時間でも、海の底の地形でも。</li> <li>・海に落ちてもライフジャケットがあれば安心だったね。</li> </ul>
ボディーボーディング	地形、風、道具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・波がよく立つ場所、立たない場所。何が違うのか。地形が違う、風が違う。</li> <li>・潮の流れに乗ると、あっという間に流されてしまうんだね。</li> <li>・海に落ちてもライフジャケットがあれば安心だったね。</li> </ul>
SUP	流れ、道具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボードに立って、パドルをこいで、自分の力でこんな沖合に来ることができたよ。</li> <li>・海の上は、波や風、潮の流れがあつて、バランスをとるのが大変だった。</li> <li>・海にも川のような流れがあるんだね。</li> </ul>
シュノーケリング	浮かぶ、道具、流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海の中を覗けるシュノーケリング。同じところを見ていると思つても、いつの間にか移動したりしたね。海はいつでも流れているから。</li> <li>・でもライフジャケットや笛があればいつでも安心できたね。</li> </ul>
アウトリガーカヌー	流れ、風、道具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海を旅するアウトリガーカヌー。みんなでぐとこんなに早く進むんだ。</li> <li>・沖に向かうときは波を乗り越え、岸に向かうときは波が押ししてくれたよ。</li> <li>・進みづらいときもあった。海には流れがあるし風もあるから。</li> </ul>
ウインドサーフィン	流れ、風、道具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風の方でこんなに早く進むことができるんだ！</li> <li>・沖に出ると、うねりが大きくて、流れも強いところもあったね。</li> <li>・安全に遊べる場所には意味があるんだよ。安全に過ごす道具と知識を持とうね。</li> </ul>

## 4. プロジェクト実施詳細

# (1) 海のそなえ体験イベント「海ロデオ」事業

### ●オリジナル遊びの設計

「波」や「潮流」など、海遊びのリスクの要因となる事からや、ライフジャケットがあるからこそその楽しさを訴求するオリジナル遊びを、鎌倉ライフガードとともに制作。遊んだ後は、自然に「波」「風」などの知識を得ていることになる。

#### (1) ライフジャケットで浮いてみよう！

まずは「装備のそなえ」であるライフジャケットの威力を知りその力を使って遊ぶ。「あれば浮く、浮くのは楽しい」を知る。



#### (2) スポンジボードで引っ張り合い！

波の力を受けて常に動く、スポンジボードを使った遊び。陸で引っ張り合うのと違い、波がくれば落ちてしまうことも。波の力とライフジャケットの力を知る。



#### (3) ボードの上でポージング

波はでボードは動くを知った後に、さらにその上でポージングをする。立ってみたり膝立ちしてみたり、波の力とライフジャケットの力を知る



#### (4) 手を繋いで輪を作ろう

ボードと波に慣れたら、みんなで手を繋いで輪を作ってみる。海には動きがあるので安定するのは難しい。波や潮流とライフジャケットの力を知る。



#### (5) 波に乗ってみよう

存分に遊んだら、波に乗って岸に戻る。自分の体丸ごと一気に運んでしまう、海の強さを知る。



#### (休憩時・終わったときに伝えること)

海で遊ぶと体力を消耗するので、水分補給など適宜休憩を取ることを伝えるとともに、体調の変化はないかなど確認することの大切さも伝える。

また、「風がどちらから吹いているか」など、当日のコンディションを子どもたちとともに確認し、「陸風」や「海風」、離岸流など海で過ごす時に気をつけることも伝える。

遊び終わって岸に戻ってきたときに、「遊び始めたときとの海の変化」(満潮・干潮) や、「遊び始めた位置と遊び終わったときの位置」(潮流) を伝えることで、海には変化があり流れがあること、自然の産物であることも伝える。

# (1) 海のそなえ体験イベント「海ロデオ」事業

## ① 鎌倉

### ● 実施内容

- 開催名称 海のそなえ体験イベント
- 主催 海のそなえソーシャルアクションプロジェクト実行委員会
- 協力 鎌倉マリンスポーツ連盟 OKUDA STYLE SURFING NSA湘南鎌倉支部  
 鎌倉アウトリガークラブ NPO法人パラギ 材木座テラス  
 HONEY SURF
- 開催日 2019年 7月31日（水）～8月2日（金）の3日間
- 開催時間
- |                  |                             |
|------------------|-----------------------------|
| 基本開催時間           | 10:00～16:30                 |
| 体験事前申込参加受付       | 9:15～9:45                   |
| 体験事前申込者 開会式      | 10:00～10:20                 |
| 事前申込者体験          | 11:00～12:30 ※開催場所により多少の前後あり |
| 体験当日参加受付（整理券の配布） | 11:00～                      |
| 体験当日参加者集合        | 13:50～14:00                 |
| 体験事前申込者 説明会      | 14:00～14:15                 |
| 当日参加者体験          | 14:45～16:15 ※開催場所により多少の前後あり |
| ライフジャケット貸出       | 11:00～16:30（最終貸出は15時）       |
- 開催会場 神奈川県鎌倉市材木座海岸  
 目標建造物 材木座テラス  
 第一次受付＆参加者の朝夕の着替え場所  
 ※保護者の着替えは禁止 海の家を有料で利用いただく
- 参加方法 体験イベント 午前：事前申し込みの方のみ  
 午後：当日参加可能  
 ライフジャケット貸出：当日参加可能
- 参加対象 体験イベント：小学3年生～6年生 ※自己申告  
 ※保護者は岸辺から見守りのみ。一緒に参加は禁止  
 ライフジャケット貸出：小学3年生～6年生を基本とする ※中学生でもサイズが適合すれば可能
- 参加人数
- |           |          |                         |
|-----------|----------|-------------------------|
| 31日体験イベント | 午前：70名   | 事前申込 → 参加実績：49名（他、親40名） |
|           | 午後：最大40名 | 当日申込 → 参加実績：10名（他、親8名）  |
| 1日体験イベント  | 午前：70名   | 事前申込 → 参加実績：52名（他、親45名） |
|           | 午後：最大50名 | 当日申込 → 参加実績：8名（他、親8名）   |
| 2日        | 午前：70名   | 事前申込 → 参加実績：41名（他、親35名） |
|           | 午後：最大40名 | 当日申込 → 参加実績：6名（他、親5名）   |
- ライフジャケット貸出：15～20着準備のため、瞬間最大15～20名に貸出可能×3日間  
 → 貸出実績：10名程度
- 実施目的 海ビギナーでも挑戦できるライフジャケットをつけた“安全を体感できる海の遊び”を  
 地域の特徴を生かし各地域団体と連携して複合的に展開する夏の体験イベント。※今回は材木座海岸  
 ライフジャケットの体験機会を創出するとともに、そなえれば海の遊びは楽しいを実感することで参加した  
 子どもと保護者に海のそなえを自分ごととして捉えてもらう。

# (1) 海のそなえ体験イベント「海ロデオ」事業

## ① 鎌倉

### ● 会場情報

□開催会場 神奈川県鎌倉市材木座海岸  
 目標建造物 材木座テラス 神奈川県鎌倉市材木座5丁目8-25  
 ※まれにカーナビ等で場所が正しく表示されません。その場合は「材木座5丁目8-27」と設定して下さい

### □アクセス

#### ■車

横浜横須賀道路「朝比奈IC」「逗子IC」が最寄り的高速インター  
 朝比奈ICからは県道204号（鎌倉市街方面）を通過して約6km、  
 逗子ICからは国道134号経由で約6.5km  
 スタッフ・関係者・参加者、全ての方の駐車場のご用意はありません。各自で一般有料駐車場を利用ください。

#### ■電車・徒歩

JR「鎌倉駅」・江ノ島電鉄「鎌倉駅」より徒歩20分 江ノ島電鉄「和田塚駅」より徒歩15分

#### ■バス

鎌倉駅東口バスロータリー 7番乗り場より鎌40（新逗子駅行き）または鎌41（小坪行き）  
 「臨海学園」下車徒歩9分 「材木座」下車徒歩11分



# (1) 海のそなえ体験イベント「海ロデオ」事業 ① 鎌倉

## ● 当日の様子



# (1) 海のそなえ体験イベント「海ロデオ」事業 ① 鎌倉

## ● 当日の様子



# (1) 海のそなえ体験イベント「海ロデオ」事業

## ① 鎌倉

### ● イベント後の自走実績

鎌倉でのイベントに賛同、協力をいただいた鎌倉マリンスポーツ連盟、及び日本サーフィン連盟湘南鎌倉支部がイベント後に、自発的に「海のそなえ」に関連する情報をパンフレット提供等を通じて実施。  
実施されたイベントは、「鎌倉マリンスポーツフェア」という鎌倉市主催の継続して実施されているイベントである。こちらで来場者に「そなえ10」のパンフレットを配布。「そなえ」の重要性を伝えた。

パンフレット提供が実施されたイベント：

イベント名：鎌倉マリンスポーツフェア

主催： 鎌倉市

実施日時：9月28日（土）、29日（日）

来場人数：2,000名程度（2日間合計）

### ▼パンフレット設置、配布の様子



写真提供：鎌倉マリンスポーツ連盟

また、日本サーフィン連盟湘南鎌倉支部の関係する鎌倉SOS（Save Our Shore）は子どもたち向けの活動においても「そなえ10」を活用して、そなえの重要性を伝える活動を、都度継続していただいている。

パンフレット提供が実施されたイベント：

イベント名：キッズサーフィンスクール

主催： 鎌倉SOS（Save Our Shore）

### ▼イベントの様子



[https://scontent-nrt1-1.xx.fbcdn.net/v/t1.0-9/73082804\\_2579488258773469\\_7727632861225811968\\_n.jpg?\\_nc\\_cat=111&ccb=2&\\_nc\\_sid=8bfeb9&\\_nc\\_ohc=OExD7iV1h5MAX8NXJq1&\\_nc\\_ht=scontent-nrt1-1.xx&oh=6da18a100ad6663b7c875f4df84d9292&oe=5FC40219](https://scontent-nrt1-1.xx.fbcdn.net/v/t1.0-9/73082804_2579488258773469_7727632861225811968_n.jpg?_nc_cat=111&ccb=2&_nc_sid=8bfeb9&_nc_ohc=OExD7iV1h5MAX8NXJq1&_nc_ht=scontent-nrt1-1.xx&oh=6da18a100ad6663b7c875f4df84d9292&oe=5FC40219)

### ▼パンフレット説明の様子



[https://scontent-nrt1-1.xx.fbcdn.net/v/t1.0-9/72690014\\_2579491345439827\\_5322512748116967424\\_n.jpg?\\_nc\\_cat=106&ccb=2&\\_nc\\_sid=8bfeb9&\\_nc\\_ohc=dFC9agsqoLUAX\\_uYRHP&\\_nc\\_ht=scontent-nrt1-1.xx&oh=4e8baac651b644a35dedc7294edde12e&oe=5FC31420](https://scontent-nrt1-1.xx.fbcdn.net/v/t1.0-9/72690014_2579491345439827_5322512748116967424_n.jpg?_nc_cat=106&ccb=2&_nc_sid=8bfeb9&_nc_ohc=dFC9agsqoLUAX_uYRHP&_nc_ht=scontent-nrt1-1.xx&oh=4e8baac651b644a35dedc7294edde12e&oe=5FC31420)

# (1) 海のそなえ体験イベント「海ロデオ」事業

## ② 片瀬東浜

### ● 実施内容

- 開催名称 海のそなえ体験イベント
- 主催 海のそなえソーシャルアクションプロジェクト実行委員会
- 開催日 2019年 8月10日(土)～8月11日(日)の2日間(当初予定・台風のため延期)  
→(変更)8月22日(木)～8月23日(金曜)の2日間  
→(再度変更)8月22日(木)の1日間(23日は荒天により高波・強風、落雷可能性のため中止)
- 開催時間
- |                  |                            |
|------------------|----------------------------|
| 基本開催時間           | 10:00～16:00                |
| 体験事前申込参加受付       | 9:15～9:45                  |
| 体験事前申込者 開会式      | 10:00～10:15 ※10分で終了するように進行 |
| 事前申込者体験          | 10:20～12:00 (振り返り15分含む)    |
| 体験当日参加受付(整理券の配布) | 11:00～                     |
| 体験当日参加者集合        | 13:50～14:00                |
| 体験事前申込者 説明会      | 14:00～14:15 ※10分で終了するように進行 |
| 当日参加者体験          | 14:20～16:00 (振り返り15分含む)    |
- 開催会場 江ノ島東浜海水浴場  
目標物 片瀬東浜交差点の階段下り、ライフセーバー監視塔の左横辺り
- 参加方法 体験イベント 午前 : 事前申し込みの方のみ  
午後 : 当日参加可能
- 参加対象 体験イベント : 小学3年生～6年生 ※自己申告  
※保護者は岸辺から見守りのみ。一緒に参加は禁止
- 参加人数
- |           |          |      |                |
|-----------|----------|------|----------------|
| 22日体験イベント | 午前 : 20名 | 事前申込 | → 実績 : 7名      |
|           | 午後 : 20名 | 当日申込 | → 実績 : 2名      |
| 23日体験イベント | 午前 : 20名 | 事前申込 | → 実績 : 荒天のため中止 |
|           | 午後 : 20名 | 当日申込 | → 実績 : 荒天のため中止 |
- 実施目的 海ビギナーでも挑戦できるライフジャケットをつけた“安全を体感できる海の遊び”を  
地域の特徴を生かし各地域団体と連携して複合的に展開する夏の体験イベント。  
※今回は江ノ島東浜海水浴場  
ライフジャケットの体験機会を創出するとともに、そなえれば海の遊びは楽しいを実感することで参加した  
子どもと保護者に海のそなえを自分ゴトとして捉えてもらう。

# (1) 海のそなえ体験イベント「海ロデオ」事業

## ② 片瀬東浜

### ● 会場情報

□ 開催会場 神奈川県藤沢市江ノ島東浜海水浴場  
 目標物 片瀬東浜交差点の階段下

### □ アクセス

#### ■ 車

東名高速道路： 厚木ICより国道129号を平塚方面へ～国道134号線を江の島方面へ  
 東名高速道路： 横浜町田ICより国道246号を厚木方面へ～国道467号線を江の島方面へ  
 その他高速道路： 首都高横浜線又は、第三京浜より横浜新道へ→国道1号線→国道467号線を江の島方面へ

スタッフ・関係者・参加者、全ての方の駐車場のご用意はありません。各自で一般有料駐車場を利用ください。

#### ■ 電車・徒歩

小田急片瀬江の島線…片瀬江の島駅より徒歩3分

江の島電鉄…江の島駅より徒歩5分

湘南モノレール…湘南江の島駅より徒歩7分



# (1) 海のそなえ体験イベント「海ロデオ」事業 ②片瀬東浜

## ●当日の様子



# (1) 海のそなえ体験イベント「海ロデオ」事業 ② 片瀬東浜

## ● 中止対応の記録 (1 / 2)

片瀬東浜のイベントは、当初8月10日、11日を予定していたが、台風10号の影響で晴天ではあったものの、会場は高波となり安全に運営ができる状態ではなかったため、止むを得ず8月8日に中止の判断を行った。

### <WEBサイトでの掲示>



### <海と日本プロジェクトイベントページへの掲示>



江の島での実施を予定しておりました「海のそなえ体験イベント 海ロデオ」は台風10号接近に伴う高波発生の可能性が極めて高い為、ご参加いただく皆様の安全を考慮し、やむなく中止とさせていただきます。

### <募集ページでの掲示>



江の島での実施を予定しておりました「海のそなえ体験イベント 海ロデオ」は台風10号接近に伴う高波発生の可能性が極めて高い為、ご参加いただく皆様の安全を考慮し、やむなく中止とさせていただきます。

### <海プロ公式Twitter・Facebookでのお知らせ>

#### Twitter

##### 【台風10号接近に伴う体験イベント中止のお知らせ】

この度、8月10、11日に実施を予定しておりました「海のそなえ体験イベント 海ロデオ」は、台風の接近による高波の発生などの危険を考慮し、やむなく中止とさせていただきます。大変申し訳ありませんが、ご理解のほどよろしくお願い致します。

#### Facebook

##### 【台風10号接近に伴う体験イベント中止のお知らせ】

この度、8月10日、11日に江の島 片瀬東浜海岸にて実施を予定しておりました「海のそなえ体験イベント 海ロデオ」ですが、台風の接近による高波が予測される為、お客様の安全を考慮いたしました結果、やむなく中止とさせていただきます。自然の力には及ばないとはいえ、楽しみにしていたお客さまにはご迷惑をお掛けいたしますこと、深くお詫び申し上げます。

# (1) 海のそなえ体験イベント「海ロデオ」事業

## ② 片瀬東浜

### ● 中止対応の記録 (2 / 2)

<参加希望者への対応>

台風接近に伴うイベント中止のお知らせ

2019.8.8

この度、8月10日（土）、11日（日）に江の島 片瀬東浜海水浴場にて開催を予定しておりました、「海のそなえ体験イベント 海ロデオ」ですが、台風の接近による高波が予測されており、ご参加される皆さまの安全を考慮いたしました結果、やむなく中止とさせていただきます。

自然の力には及ばないとはいえ、楽しみにしていたお客さまにはご迷惑をお掛けいたしますこと、またイベント開催直前のご案内となりましたことを、お詫び申し上げます。

また実施の機会などございましたら、改めてご報告をさせていただきますので、その折には、またご検討をいただけますと幸いです。

海のそなえソーシャルアクションプロジェクト実行委員会

# (1) 海のそなえ体験イベント「海ロデオ」事業 ③勝浦（海のお仕事図鑑コラボ）

## ●実施内容

タイトル	マリンスポーツショップのお仕事
実施日	2019年9月21日（土）※雨天決行 振替日：10月14日（祝月） ※9月20日16時に催行有無を協議し、17時に参加者へ連絡
開催地	マリブポイント 千葉県勝浦市串浜1224-1
参加対象者	小学生以上
参加人数	6名
受入先	マリブポイント株式会社 ご担当：高梨 様
協力	海のそなえソーシャルアクションプロジェクト実行委員会 西浜ライフセービングクラブ

## お仕事体験 ストーリー

ストーリー	「海の楽しさを多くのお客さんに感じて欲しい!」と思っているこのお店でも「SUP」が大人気で人手が足りない状態に。ショップのお仕事の手伝いを通してお客様のおもてなしをお願いします。
仕事内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>接客</li> <li>受付準備、機材セッティング、ボード引き上げ補助</li> <li>ビーチクリーンなど</li> </ul>
子供たちに届きたい事	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者への海の魅力の波及/発信</li> <li>海のそなえ（安全対策）</li> <li>環境問題の自分ゴト化</li> </ul>

# (1) 海のそなえ体験イベント「海ロデオ」事業

## ③勝浦（海のお仕事図鑑コラボ）

### ●コラボ意図と結果

勝浦の海のお仕事体験では、SUPスクールが体験の内容であった。SUPスクールでは、SUPを教えるだけでなく参加者の体調を確認したり、安全に体験ができる状態か海の状態を確認したり（天候、潮流、浜辺のゴミなど）するのも仕事の一部である。そのため、本企画では海のそなえプロジェクトが「そなえ・安全」の部分でレクチャーする役割を担い、一緒にプロジェクトを行った。結果、海の様子について、浜辺のゴミについて、ライフジャケットについて体験を通じて子ども、帯同する大人も学んだようだった。

### ●スケジュール

8:00	集合／朝礼（アクト＋参加者のみ） ・受付開始 ・朝礼：挨拶／役割紹介／自己紹介 ・3つの約束事（挨拶／傾聴／質問）	15min
8:10	朝礼（主催者主導で進行） ・全体挨拶 ・主催者（仕事の依頼者）より挨拶／仕事内容の説明	5min
8:15	オリエン＆ロールプレイ（受付業務） ・申し込み用紙記入/着替え案内 ・ライフジャケット配布＆パドルの配布	30min
8:50	ボード準備 ・ショップから浜へボードを運ぶ	10min
9:00	一般受付開始 ・一般のお客様の受付業務 ・お客様を浜へアテンド	30min
9:30	<b>海のそなえPJ レクチャー</b> ・ <b>海の安全対策に関する学び</b>	60min
10:10	移動 ・浜→ショップ	10min
10:20	レポート作成業務 ・レポート作成	30min
11:10	午後の準備 ・シャワー／トイレ／午後の申し込み書の準備	20min
11:30	一般受け入れ～お見送り ・浜から戻ってきたお客様のご案内 ・見送り	15min
11:45	修了式 ・終わりの挨拶 ・報酬受け渡し（主催者→参加者） ・アンケート記入 ・子供同士で名刺交換	15min
12:00	一時解散 ・商品引き換え	
	昼食	60min
13:30	再集合 <b>親子で海のそなえPJ &amp; SUP体験</b> <b>海のお仕事こども会議への参加要請（アクト→参加者）</b>	180min
16:00	解散	

# (1) 海のそなえ体験イベント「海ロデオ」事業 ③勝浦（海のお仕事図鑑コラボ）

## ●午前の部（海の安全対策等に関する学び）の様子

9:30 海のそなえPJ レクチャー

60min

### ・海の安全対策に関する学び

お客様を送り出した後、子どもたち自身も浜辺に降りて海の様子を観察、どのようなところに気を付けなければいけないのかといったことや、ビーチクリーンもスクールとしては大事な仕事なので、子どもたちも体験。自分たちがゴミだと思って拾ってきたものについて、「なぜこれがゴミなのか」を一緒に考えるなど工夫した。



## ●午後の部（海ロデオ体験）の様子

13:30 再集合 親子で海のそなえPJ & SUP体験

180min

### ・海そなえ体験イベント「海ロデオ」を通じて、海の特徴を知る

お仕事体験の後、SUP体験の前にはまず海を学ぶ「海ロデオ」を実施。一部親御さんも参加して、波や潮流、風、インショアホールなど、リスク要因になる事項について、またライフジャケットについて遊びを通じて学んだ。

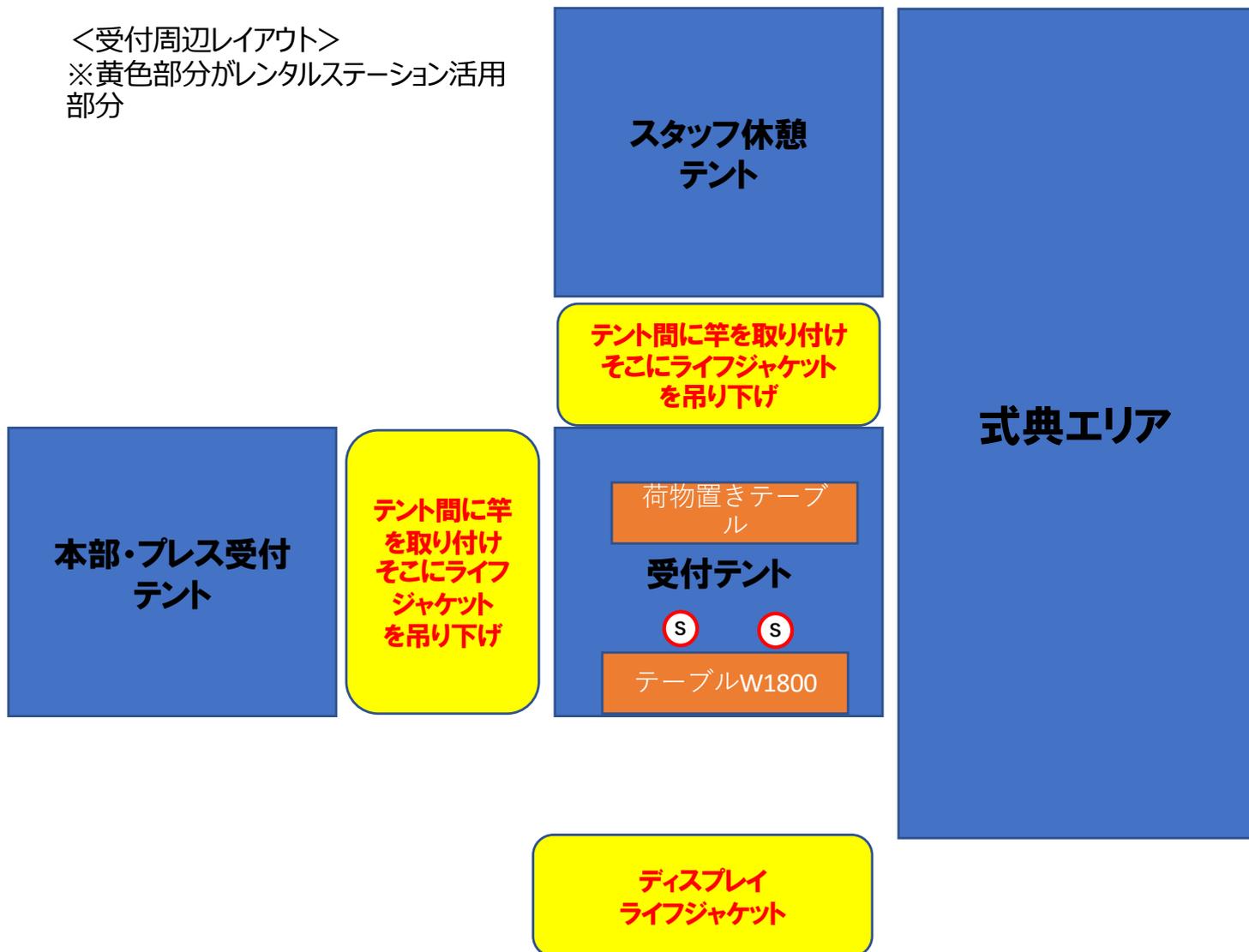


## (2) ライフジャケットレンタルステーション事業

### ● ライフジャケット受付場所等、実施実績

<受付周辺レイアウト>

※黄色部分がレンタルステーション活用部分



#### モンベル フリーダムキッズ Blueeq PFD Junoir

→ 活動に使っていないライフジャケットを常時10着弱準備、無料貸し出し（レンタルステーション）を行った。

→結果、午前の部体験者の子どもが引き続き午後の自由時間に借りに来たり、イベント以外で立ち寄った親子が借りるなど、合計10数着の貸し出しがあった。

### (3) 自治体・学校連携事業

子ども、親世代と教育者に、「そなえ」の重要性を伝えるには「学校」、「自治体」は非常に重要な発信主体である。一方で、現在の教育指導要領では津波などの災害以外において、自然域のこと、そなえのこと、ライフジャケットのことを学ぶことは義務付けられておらず、学校での発信は限定的である。そのため、本事業では、子ども・親世代だけではなく、教育者自身にもそなえの教育の重要性を認識していただくため、本事業の趣旨に賛同していただける自治体・学校へのライフジャケットの贈呈と、そなえを楽しく学べる講座の提供を行った。

このうち、そなえ講座のモデルケースとして、海のそなえ体験イベントも実施した鎌倉市にて、教育委員会と相談を行い、稲村ヶ崎小学校にて実施した。

稲村ヶ崎小学校は、モデルケースとして実施したがその後の教育委員会からのお声掛けなど含め、体験イベントと自治体・地域との連携を組み合わせる次のようなモデルを展開していくことの可能性を強く感じた。

#### <海のそなえ体験の実施×そなえ講座の普及モデル>

イベントを通じて自治体、地域のライフセーバー等活動者とながり、自治体・教育委員会や活動団体を通じて学校にアプローチする。学校では、教員や児童が海のそなえの重要性を知ることができるとともに、地域で活躍する人が講演することで、今後の活動につながりやすくする。



★海でのそなえ体験イベントの実施



#### ★自治体とのコンタクト

海岸使用のため、イベント実施時には必ず管理者である自治体とのコンタクトを行う。そこで、イベントの趣旨や今後のれんげいについて打診ができる



#### ★地元ライフセーバーとの連携

イベント実施にはライフセーバーが不可欠であるため、実施地域のライフセーバーへの協力を仰ぐことになり、今後の展開についても相談できる。



#### ★自治体を通じた学校とのコンタクト。地域の活動者となぐ。

行政を通じて、本事業に賛同いただける学校に対して、イベントで使用したライフジャケットの贈呈と、海のそなえ講座の実施を行う。学校側は、子どもたちに新たな学びを提供できるとともに、地元のライフセーバー等活動者と繋がれることで、こんごの継続的な活動にもつなげることができる。

継続的な「そなえ」の学びへ

## (3) 自治体・学校連携事業

### ● イベント実施概要

#### <概要>

場所：鎌倉市立稲村ヶ崎小学校  
(〒248-0023 鎌倉市極楽寺三丁目2番3号)

日時：2019年12月17日(火)  
2校時(9時40分～10時25分)

対象：小学5年生(35名) 総合学習の時間

実施内容：

- ① ライフジャケットの贈呈
- ② そなえ落語の実施+フォローアップ講座

登壇者：三遊亭 わん丈氏(落語家)

林 亮太氏(WATER SAVVY プロデューサー)

運営側責任者：小川恭子(海のそなえソーシャルアクションプロジェクト実行委員会)

学校側責任者：鈴木教頭先生(稲村ヶ崎小学校)

#### <出演者 プロフィール>



#### 三遊亭 わん丈氏(落語家)

滋賀県出身、2011年三遊亭円丈に入門。2012年4月前座となる。前座名「わん丈」。2016年5月二ツ目昇進。

20歳から約7年間、福岡県内を中心にバンドのヴォーカルとして活動。また地元のラジオ番組のアシスタントDJを務めたことをきっかけに、自身で企画からパーソナリティまで勤めるラジオ番組や、イベントの司会なども行う。2010年、東京を訪れた際に寄席で落語に魅せられ、すぐに落語家になるため上京。滋賀県初の江戸落語家となる。

年間1200席高座に上がり、その日の客層をみて自由自在に古典落語、自作の新作落語を操る受賞歴多数の実力派若手落語家。未来の落語界を牽引する落語家の一人。

出典：三遊亭わん丈オフィシャルウェブサイト (<http://sanyutei-wanjo.com/about/>)



#### 林 亮太氏(WATER SAVVY プロデューサー)

大学時代にライフセービングに出会い、鎌倉の海で10年以上ライフガードとして活動中。消防職員としても災害対応に従事してきたが、ライフガードとして水辺の事故防止活動に専念するため退職。現在は海水浴場やサーフィン、遠泳大会などのイベントの警備にあたりながら、海で安全に遊ぶための水辺の安全教室「WATER SAVVY」を全国へ広めるべく活動している。

日本ライフセービング協会認定インストラクター、日本初フィジオコントロールジャパン認定BLSトレーナー

海と日本プロジェクトでは、海と日本プロジェクトinかながわでの活動や、2019年夏に鎌倉材木座海岸での「海のそなえ体験イベント 海ロデオ」にて、海を知り、遊ぶオリジナル遊び「海ロデオ」の開発に寄与。イベント当日は、海ロデオのチーフインストラクターもつとめ、多くの子どもたちに海の安全と魅力を伝えた。

出典：SUGATAウェブサイト ([http://www.sugata.co.jp/workshop/ka\\_workshop/7012](http://www.sugata.co.jp/workshop/ka_workshop/7012))

### (3) 自治体・学校連携事業

#### ● イベントの様子



## (3) 自治体・学校連携事業

### ●2020年以降の取り組みについて

2019年12月、稲村ヶ崎小学校での実施を経て、鎌倉市教育委員会より継続した活動の依頼と、他の学校への展開など、含め打診を受けていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、学校での活動が難しくなり、2020年度の継続した展開は難しくなった。また、2021年以降で再検討をしたい。

#### ▼ 現状進捗報告資料（記録）

2020年10月

#### 海のそなえソーシャルアクションプロジェクト 「海のそなえ講座」自走化に関する取り組みの経緯と現状

海のそなえソーシャルアクションプロジェクト（海と日本プロジェクト2019）における、自治体や学校等と連携した「海のそなえ講座」の自走化に関する取り組みについて、ここまでの取り組み内容と交渉経緯、現状等を以下の通りご報告申し上げます。

#### ●「海のそなえ講座」の自走化に関する概要

- ・ 海のそなえ体験機会の創出後に、体験会で使用したライフジャケットやネットワークを活用して、海のそなえを学べる機会を地域自治体や学校と連携して広げていくことで、さらなる学びの普及につなげることを目的として実施するもの。

#### ●ここまでの取り組み内容：

##### <2019年12月まで>

- ・ 当実行委員会では、2019年の夏に日本ライフセービング協会、鎌倉ライフセービングクラブ、鎌倉マリンスポーツ連盟等と連携して、鎌倉市を中心にして子どもたちが、海の原体験の中で「そなえ」を学ぶ、“海のそなえ体験イベント 海ロデオ”を実施した。この取り組みに、鎌倉市教育委員会が関心を持ってくださり、同年10月より、そなえの学びを深め広める意思のある鎌倉市内の小学校との連携を取り持っていた。
- ・ 鎌倉市教育委員会とのつながりを軸に、同年12月には鎌倉市立稲村ヶ崎小学校にて、今後の水辺での教育に活用するライフジャケットの寄付と、そなえを楽しみながら学べる「海のそなえ講座」を実施した。講座では、海の親子寄席プロジェクトにご協力をいただき、三遊亭わん丈氏による創作落語「ライフセーバー」を通じた学び、ここに「海のそなえ体験イベント 海ロデオ」でもご協力をいただいた鎌倉ライフセービングクラブのライフセーバー 林亮太氏による解説を行うなどした。

##### <2020年1月以降>

- ・ その後、本講座をご覧になった教育委員会の担当者より「そなえ講座」を、鎌倉市内の小学校に広げることにご賛同をいただいた。
- ・ また、同時期に準備が進められていた、日本ライフセービング協会のSwim & Survive水辺の安全IT教材とも、そなえの学びの普及について連携して進めていくことを合意し、4月以降の学校での学習の取り入れに向けて準備を進めていた。
- ・ 依頼文書の先方確認まで準備を進めたが、2020年2月より蔓延した新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、教育委員会を中心とした学校との連携が中断した。

## (3) 自治体・学校連携事業

### ▼ 現状進捗報告資料（記録・つづき）

- ・ その後、感染症拡大の第一波がおさまる頃に、オンライン講座等も見越した提案を再度行ったが、学校休校などの措置が広がっていたため学校のプログラムに取り入れることは難しいという回答を受けた。

#### <自治体、学校との連携に関する交渉経緯、現状 一覧>

学校名（交渉時期）	現状
鎌倉市教育委員会 （2月から9月）	・ 海のそなえ講座の市内展開には賛同 ・ 休校措置等による、学校側との折衝が困難な状況であり、今年度の展開は難しいと回答
さいたま市立桜木小学校 （5月から6月）	・ 着衣泳など水辺の安全を学ぶ授業を実施予定 ・ 一方、ゲストを招いての実施は感染症対策上難しいと回答
成城学園中学校 （5月から6月）	・ 休校措置や分散登校などを実施しており、通常の授業以外のプログラムを入れるのが困難。
藤沢市教育委員会 （6月から7月）	・ 海さくらと連携した地域プログラム検討 ・ 今年度は集合しての講座等実施までに至るのが困難
愛媛県西条市小学校 （6月から8月）	・ 水辺の安全を学ぶ授業を実施予定 ・ 県外からのゲストを招くなどする授業の実施が難しい ・ オンラインによる講座は難しい、日程の調整が難しい
香川県 （7月から8月）	・ ライフジャケットレンタルを行っている県庁主導でのプログラムとのコラボについて前向きな回答 ・ 今年度のプログラムは決まってしまうっており、今年度の実施は不可（来年度以降は講師と相談して可能である可能性が高い）
新宿区立小学校 （9月）	・ PTAの独自企画として中学年を対象に実施を検討 ・ 学校長の承諾まで至らず、今年度については実施不可

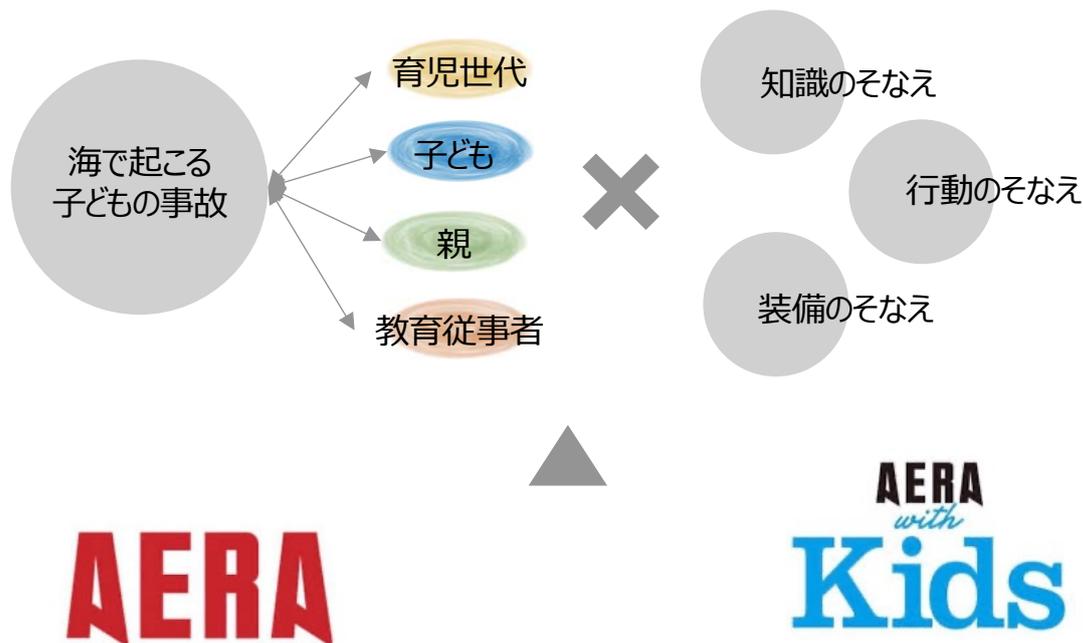
#### <状況まとめ>

- ・ 学校との連携という部分で、学校の授業内での双方向コミュニケーションをベースにした学びを目指していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、学校の休校措置、分散登校などによるそもそもの授業時間の不足や、混乱する学校現場とのやりとりの困難さが続いている。
- ・ 2019年にモデルケースを実施することができたが、上記状況により、その後の自走・普及部分で、学校を中心にしたプロジェクト進行が困難な状態となっている。

## (4) 朝日新聞出版連携事業

社会の様々な課題に切り込み、発信する力を持つ朝日新聞出版社との連携事業。取材発信をするにあたり、朝日新聞出版×海のそなえソーシャルアクション プロジェクト事務局を立ち上げ、そなえの普及に重要な、親子、親・育児世代、教育者に「そなえ」を適切に伝えるにはどうしたら良いか、協議し「子どもとその親」に伝えることのできる、「AERA with Kids」と、社会問題に関心の高い大人世代に伝えることのできる「AERA」で、海のそなえに関する記事を発信することとした。

＜“海のそなえ”の普及は、子どもに関わる全ての人々が相互に解決していく問題＞



社会の様々な課題に切り込み、発信する力を持つ朝日新聞出版社の総合週刊誌。都市圏、ビジネスパーソンに強く様々な社会問題を取り扱う。発行部数8.7万部。



(共同企画)  
AERA 2020年6月15日号

■ 記事タイトル  
海に行けない今だからこそ！  
2020年海を知る・学べるプロジェクト

朝日新聞出版社の教育系の子ども向け雑誌。ターゲットは小学校中学年以上とその親。子ども向けだが親や家庭内のきょうだいで回覧されるなど家庭への訴求力が高い雑誌。発行部数4万部。



(共同企画)  
AERA with Kids 2020年夏号

■ 記事タイトル  
学びのプロと安全のプロに聞きました！  
子どもを伸ばす海遊び  
&海に行く前に知っておきたいこと

# (4) 朝日新聞出版連携事業

## ●掲載内容の紹介 (AERA・共同企画)



AERA 2020年6月15日号  
全国書店、コンビニエンスストア等で発売

表紙はパラトリアスリートの秦由加子さん、巻頭に「コロナがもたらす血流リスク」を特集した号で、共同企画記事として展開しました。掲載位置が良く、雑誌の真ん中あたりで前半の読み物記事群が終わった直後のカラーページ冒頭となる位置どりは、パッと開きやすく、多くの読者の目に止まることから、企業タイアップでも人気の位置です。

■記事タイトル  
**海に行けない今だからこそ！  
2020年海を知る・学ぶプロジェクト**  
(P33にあたる場所でカラー1ページ)

**海に行けない今だからこそ！  
2020年海を知る・学ぶプロジェクト**

海は私たちの生活に様々な影響を与えていますが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、いつも以上に海を美しく見ることが難しい状況です。「海と日本プロジェクト」では、豊かな海を未来につづけるために今年も海を知り、学ぶプログラムを多数展開しています。

**安全に海を楽しむポータルサイト**  
海を楽しむためには、安全のための知識や行動、設備の活用、海や水質に関するプロジェクトでは、さまざまな専門家の知識を「安全に楽しむ」として、ためのノウハウや安全に関する取り組みをまとめた。発行。  
<https://www.umineki.jp/>

**海の自由研究で第二の小さなクンに!**  
海の自由研究や食育に役立つ役立つの研究テーマから、好きなものを選んで研究し小さなクンに報告する。日本海産物「海と日本プロジェクト」と朝日小学生新聞の協同コンクールが開催中。応募は7月30日まで。  
<https://umineki.jp/stayhomewiththesea/contestation.html>

**「小さなクン」コンクール**  
「小さなクン」コンクールは、小学生が海の自由研究や食育に関するテーマで、自分の好きなものを研究し、小さなクンに報告する。日本海産物「海と日本プロジェクト」と朝日小学生新聞の協同コンクールが開催中。応募は7月30日まで。  
<https://umineki.jp/stayhomewiththesea/contestation.html>

**挑戦! 海のクイズ王!**  
海のクイズ王・海洋学王全国大会にちなみ、海に関するクイズが盛り込まれた「海のクイズ王」というクイズ番組が放送中。楽しく多様な海のクイズを学べる機会にぜひ参加。  
<https://umineki.jp/stayhomewiththesea/quiz.html>

**SDGsの目標14「海を学ぶ」**  
SDGsの目標14「海を学ぶ」は、持続可能な開発のための目標の一つです。海は私たちの生活に不可欠な資源であり、持続可能な開発のために海を学ぶことが重要です。今年も海を知る・学ぶプロジェクトを展開しています。  
<https://www.sdg14.or.jp/>

**スゴGOMI甲子園**  
海洋汚染を地域で防止! 清掃活動を通じて、海洋汚染を防止し、美しい海を創出します。  
<https://www.spgomi.or.jp/>

**陸養プロジェクト**  
陸養プロジェクト実行委員会とNPO陸養推進委員会が実施する陸養プロジェクトでは、甲子園で競走する馬を育て、自分たちが育てた馬をどうするかを競うことで、命の大切さ、水産物について学びます。  
<https://rikuyou.umineki.jp/>

**プログラミングでのSDGs**  
SDGsの海洋環境づくりを学ぶプログラミング  
プログラミングワークショップを通じて、子どもたちが海の課題解決を体験してもらおうというイベントです。2020年度は海産物資源をテーマにした「海産物のプログラム体験」を実施。7月の開催をスタートに、全国各都府県で開催される予定。  
<https://programming.or.jp/umip/>

**日本海産物「海と日本PROJECT」**  
さまざまな形で日本人暮らしを支え、土着の心や文化や、ひらめきを生み出してくれる。そんな海産物。いろいろな海の産物の知識を、子どもたちをはじめ全国のみなさんが「海と日本」として、海を未来へつなぐべくアクティブな取り組みを行っています。日本海産物の知識の中心、ネット上で「海と日本プロジェクト」を展開しています。  
<https://umineki.jp/>

文/ハル川由香 デザイン/morassone 企画・制作/朝日新聞出版・海と日本プロジェクト・AERA編集部

## ●実施の成果

感度の高いAERA読者に「安全」を含む海と日本プロジェクトについて周知できた。

- <「おうちで海活」カテゴリ>
- ◎「「小さなクン」コンクール」周知
- ◎WEBメディア「海の事故ゼロをつくるノート」周知
- ※発売時点では「安全に海を楽しむポータルサイト」と表現
- ◎「挑戦! 海のクイズ王!」周知

- <SDGsの目標14「海を学ぶ」カテゴリ>
- ◎「陸養プロジェクト」周知
- ◎「スゴGOMI甲子園」周知
- ◎「プログラミングで海のSDGs!」周知

# (4) 朝日新聞出版連携事業

## ●掲載内容の紹介 (AERA with Kids・共同企画)



AERA with Kids 2020夏号  
全国書店、ショッピングモール等で発売

特集を「極める！おうち勉強」と打ち、毎夏人気の中学受験ナビ「探学」を別冊付録に付けた季刊誌で自発編集記事+共同企画記事を展開しました。  
AERA with Kidsの読者へアンケートを実施し、海遊びとそなえに関するリテラシー調査をふまえた構成にしました。

■記事タイトル  
**学びのプロと安全のプロに聞きました！  
子どもを伸ばす海遊び&海に行く前に知っておきたいこと**  
(P52~55にあたる場所でカラー4ページ)



## ●実施の成果

感度の高いAERAwithKids読者に「海の楽しさ」と「そなえの重要性」を訴求できた。

<コメント>

- ◎学びのプロ＝花まる学習会 野外体験部 箕浦賢治さん
- ◎安全のプロ＝日本ライフセービング協会 石川仁憲さん

<情報提供>

- ◎ライフセーバーのいる海水浴場WEBサイト周知
- ◎海に行きたい日の天候をチェックできるWEBサイト周知
- ◎「海のそなえ」サイト周知
- ◎海のそなえソーシャルアクション活動周知  
(「海のそなえ未来会議」「海ロデオ」実施)

- ◎海の親子寄席
- ◎海のおもいで創造プロジェクト
- ◎日本さばけるプロジェクト

## (4) 朝日新聞出版連携事業 ★参考★連携事業による自発編集・発信



AERA 2020年7月6日増大号  
全国書店、コンビニエンスストア等で発売

星野源さんを表紙に迎え、巻頭特集に「新しい生活様式」を展開する、注目度のとくに高い号で自発編集記事を展開しました。

■記事タイトル  
「体力低下」「監視員なし」で今年は特に要注意  
海離れが招く事故リスク

P64～66（モノクロ記事3ページ）  
AERA内ジャンルとしては、「社会」のタグがつく読み物記事という位置づけ。



### ●実施の成果

記者が独自に調査、執筆をする自発記事にて、2020年ならではの海のリスクについて、海のそなえプロジェクト関係者の言葉や海と日本プロジェクト調査結果などが効果的に掲載された。

<情報提供として>

- ◎「海と日本人に関する意識調査」掲載
- ◎「海ロデオ」開催実績
- ◎WEBメディア「海の事故ゼロをつくるノート」周知
- ◎「プログラミングで海のSDGs!」周知
- ◎「触れる地球・SPHERE」周知

<コメント提供として>

- ◎「海のそなえ推進プロジェクト」渡邊友弘氏
- ◎日本ライフセービング協会 石川仁憲氏
- ◎京都芸術大学 竹村眞一氏

# (5) WEB事業

海のそなえ推進プロジェクトでは、海のそなえの活動を広く普及し、活動の内容をいつでもどなたでもご覧いただけるように、ポータルサイトを作成。

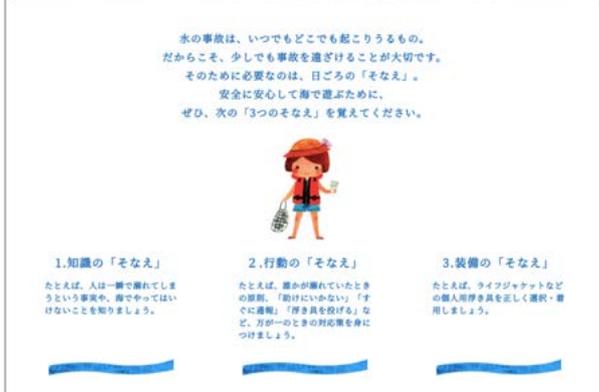
ウェブサイトそれ自体は、2018年の別団体の活動より引き継ぎ以下の点を重点的に改修した。

## <改修ポイント>

- ✓ 各年の活動の目玉となるイベント等を紹介できるよう、トップページの冒頭に動画を挿入。
- ✓ 「海のそなえ」の活動で重視している「3つのそなえ」をファーストページに配置。そこから具体的なアクションである“そなえ10”を確認できるように。
- ✓ 多くの人の“そなえ”の実践を共有できる“そなえログ”を配置。



「海のそなえ」に関連するコンテンツを提示  
イベント前の告知等にも活用



私たちが伝えたい“海のそなえ”とは何か、大事にしているポイント、知ってほしいポイントを1ページ目に入れ、周知を図る



お知らせ事項の提示。情報が更新される箇所を中程に持つことで“変わっている”ことを示すことができる。



”そなえログ“。これまでの一方通行の情報発信ではなく、”そなえを実践している人“の顔も映し出せるよう、ご参加いただいた方のインタビューも掲示。

他、インスタグラムと連携し“#海のそなえ”を呟いてくれた方たちの投稿を掲示できるようにした。

## (5) WEB事業

2019年度事業で作成した記事は以下のとおり。

### ■ あなたができる海のそなえ10

- 石川仁憲さん  
（公益財団法人）日本ライフセービング協会 理事 溺水防止救助救命本部長

### ■ 海のそなえ「海口デオ」体験コメント12選

～わたしはこうして“そなえ”てます～

- 環境ナビゲーター 井手迫義和さん
- 「海にいこーよ！」WEB統括ディレクター 石川芽生子さん
- 脳科学者 澤口俊之さん
- 一般社団法人吉川慎之介記念基金 代表理事 吉川優子さん
- ライフセーバー 林亮太さん
- パパラギダイビングスクール 松本さん
- 日本ライフセービング協会理事 石川仁憲さん
- イベント参加者 山口さん親子
- 野口さん親子
- 今西さん親子
- 長野さん親子
- 今井さん親子

■ “そなえ”たら、海はもっと楽しい！鎌倉市稲村ヶ崎小学校で「そなえ寄せ&講座：と「ライフジャケット贈呈式」を行いました

- 落語家 三遊亭わん丈さん
- ライフセーバー 林亮太さん
- 稲村ヶ崎小学校校長 磯部久仁子さん

## 5. 製作物

## ①体験イベント関連

海のそなえの決まり事を正しく伝え、ライフジャケットを着用することで海の楽しさが増幅すること  
海ロデオではどんな遊びができるのかをまとめて伝える動画。ウェブサイトに掲示し期間中500回程度閲  
覧された。



親子で学ぶ海のそなえ 共通画像



# ①体験イベント関連（1/5）

イベント当日、誘導・フラッグ等必要物

<ブース関連>

<p>海のそなえ体験イベント 受付・更衣室</p> <p>日本 海総本</p>	<p>海のそなえ体験イベント 受付</p> <p>日本 海総本</p>	<p>海のそなえ体験イベント 受付・更衣室</p> <p>日本 海総本</p>
<p>海のそなえ体験イベント 材木座海岸</p> <p>※水着に着替えてから海岸へ</p> <p>日本 海総本</p>	<p>海のそなえ体験イベント 材木座海岸</p> <p>※水着に着替えてから海岸へ</p> <p>日本 海総本</p>	<p>海のそなえ体験イベント リストバンド お渡し所</p> <p>日本 海総本</p>
<p>海のそなえ体験イベント イベント本部</p> <p>日本 海総本</p>	<p>海のそなえ体験イベント サテライト本部</p> <p>日本 海総本</p>	<p>海のそなえ体験イベント 救護室</p> <p>日本 海総本</p>
<p>海のそなえ体験イベント プレス受付</p> <p>日本 海総本</p>	<p>海デヲ を楽しめたら・・・</p> <p>#海のそなえ で感想を発信してね!</p> <p>日本 海総本</p>	<p>海のそなえ体験イベント 救護室</p> <p>日本 海総本</p>
<p>海のそなえ体験イベント 参加保護者 休憩スペース</p> <p>※貴重品は各自で管理してください</p> <p>日本 海総本</p>	<p>海のそなえ体験イベント スタッフ休憩所</p> <p>日本 海総本</p>	<p>海のそなえ体験イベント ライフジャケット 貸出受付</p> <p>日本 海総本</p>

# ①体験イベント関連（2/5）

イベント当日、誘導・フラッグ等必要物

<アクティビティ参加受付>

海のそなえ体験イベント

**午後の部  
参加者受付**

そなえて海をのりこなす海あそびの流儀

**オリジナル体験  
「海口デオ」**

参加人数 **20** 名

海のそなえ体験イベント  
**海口デオ**

遊覧船のようにのんびりウォッチング

**海洋生物観察会**

参加人数 **10** 名

海のそなえ体験イベント  
**海口デオ**

海のパレットを見にいく小旅行!

**パドボ体験**  
(スタンドアップパドルボーディング)

参加人数 **10** 名

海のそなえ体験イベント  
**海口デオ**

海ゴミ拾いにみんなで海パトロールに出発!

**アウトリガーカヌー体験**

参加人数 **10** 名

海のそなえ体験イベント  
**海口デオ**

遊覧船のようにのんびりウォッチング

**シュノーケリング教室**

参加人数 **10** 名

海のそなえ体験イベント  
**海口デオ**

波にのって泡の振動を感じよう!

**ボディボーディング体験**

参加人数 **10** 名

海のそなえ体験イベント  
**海口デオ**

潮の力、風の力、バランスカを楽しもう!

**ジュニア  
ウィンドサーフィン体験**

参加人数 **10** 名

海のそなえ体験イベント  
**海口デオ**

## ①体験イベント関連（3/5）

イベント当日、壁崖用大型フラッグ及び、集合・落書き用のブルーシート

<壁掛け用大型フラッグ>



<ブルーシート>



# ①体験イベント関連（4/5）

SNS投稿用 PROPS

<PROPS>





## ②WEBサイト関連

(5) WEB事業と同様の内容。P33参照。

## **6. PR活動**

# ①海のそなえ体験イベント（1 / 3）

## メディア向けプレスリリース

### リリース結果：来場メディア

- ・さいたまテレビ、千葉テレビ、神奈川テレビ
- ・朝日新聞出版
- ・ソーシャルインノベーションニュース

ご取材のお願い

2019年7月吉日

報道関係者各位  
海のそなえソーシャルアクションプロジェクト 実行委員会

**子どもたちがライフジャケットを着用し「そなえ」を万全に海で遊ぶ  
「海のそなえ体験イベント“海口デオ”を開催！**

**2019年7月31日(月)～8月2日(水)10時～ <材木座海岸にて>**

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜わり、心より厚く御礼申し上げます。

このたび、「海のそなえソーシャルアクションプロジェクト実行委員会」は、「楽しい水辺の体験から参加したすべての親子が「そなえ」を体験し、身に着ける」ための海辺の体験イベントを、**神奈川県鎌倉市材木座海岸にて7月31日(月)から8月2日(水)の10時～16時に「海のそなえ体験イベント“海口デオ”を開催**いたします。このイベントは、次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人がつながる”日本財団「海と日本プロジェクト」の一環です。

本イベントでは、海ビギナーでも海のかたとそなえの力を存分に楽しめるオリジナルの遊び「海口デオ」や、「SUP（スタンドアップパドルサーフィン）」「シュノーケリング」など、様々な遊びを体験いただけますが、すべて「装備のそなえ」を体験するため、**子どもたち全員がライフジャケットを着用**して行います。また、単純に遊ぶだけでなく各遊びのインストラクターから、海に入る時の「そなえ」についてしっかりと説明が行われるため、海での「知識と行動のそなえ」を学び、体験できる内容となっています。また、様々な方に装備のそなえを実感していただけるよう、ライフジャケットのレンタルステーションも併設します。

ご多忙の折、誠に恐縮ですが、万障お繰り合わせの上、ご取材いただけますと幸いです。添付の返信フォーマットに必要事項をご記入の上、**2018年7月30日(火)までにこの返信くださいますようお願い申し上げます。**

敬具

日時	2019年7月31日(水)から8月2日(金)10時～16時
会場	神奈川県鎌倉市材木座海岸 目標建造物 材木座テラス (神奈川県鎌倉市材木座5丁目8-25) ◆当日の緊急連絡先: 080-1381-8713 (担当: 岩淵)
アクセス	・JR「鎌倉駅」・江ノ島電鉄「鎌倉駅」より徒歩20分 ・江ノ島電鉄「和田塚駅」より徒歩15分 ・鎌倉駅東口バスロータリー7番乗り場より 鎌40(新逗子駅行き)または鎌41(小坪行き) 「臨海学園」下車徒歩9分、「材木座」下車徒歩11分
プログラム	■31日～2日共通<午前> 開会式/移動 10:00～10:20 事前申込者体験 10:40～12:30 ※各体験の開催場所により開始時間前後します  7月31日(水) 体験イベント午前 (計60名/要事前申込み) オリジナル遊び体験 / PADOBO体験 / アウトリガーカヌー体験 / 海洋生物観察会 / シュノーケリング体験

	8月1日(木) 体験イベント午前 (計70名/要事前申込み) オリジナル遊び体験 / ボディボーディング体験 / ジュニアウィンドサーフィン体験 / アウトリガーカヌー体験 / 海洋生物観察会 / シュノーケリング体験
	8月2日(金) 体験イベント午前 (計70名/要事前申込み) オリジナル遊び体験 / PADOBO体験 / ジュニアウィンドサーフィン体験 / アウトリガーカヌー体験 / 海洋生物観察会 / シュノーケリング体験
	※各日午後7時までのうち一部の種目を当日受付の予定。
	全日程共通 ライフジャケット貸出し

**ご取材について**

- \*全日程ともに【 9:30 】に受付までお越しください。
- 取材希望プログラムがございましたら FAX 返信表にてご明記ください。
- \*特に希望が無い場合は、【 10:00～ 開会式 】よりご案内いたします。

**イベント会場のご案内**

- 会場：神奈川県鎌倉市材木座海岸 目標建造物 材木座テラス (神奈川県鎌倉市材木座5丁目8-25)
- 会場アクセス：
  - ・JR「鎌倉駅」・江ノ島電鉄「鎌倉駅」より徒歩20分
  - ・江ノ島電鉄「和田塚駅」より徒歩15分
  - ・鎌倉駅東口バスロータリー7番乗り場より 鎌40(新逗子駅行き)または鎌41(小坪行き)「臨海学園」下車徒歩9分、「材木座」下車徒歩11分



# ①海のそなえ体験イベント（2 / 3）

## 一般向けプレスリリース

PRESS RELEASE

2019年7月吉日



報道関係者各位

### 水辺での楽しい体験を通じて、そなえを体感し身につけるイベント 「海のそなえ体験イベント“海ロデオ”」開催！ 2019年7月31日(水)～8月2日(金)10時～/材木座海岸にて

「海のそなえソーシャルアクションプロジェクト実行委員会」は、「楽しい水辺の体験から参加したすべての親子が「そなえ」を体感し、身につける」ための水辺の体験イベントを開催いたします。開催日は、7月31日(水)から8月2日(金)の3日間、いずれも10～16時までの開催となります。実際の体験に参加できるのは本イベントではお子さまに限らせていただいております。このイベントは、次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人がつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。

本イベントでは、海ビギナーでも海のかとそなえの力を存分に楽しめるオリジナルの遊び「海ロデオ」や、「SUP（スタンドアップパドルサーフィン）」「シュノーケリング」など、様々な海での遊びを体験いただけます。すべてのアクティビティにおいて「装備のそなえ」を体感していただくため、ライフジャケットを着用していただきます。

また、各遊びのインストラクターから海に入る時の“そなえ”についてしっかりと説明が行われますので、での「知識と行動のそなえ」を学び、体感できる内容となっています。

また、様々な方に装備のそなえを実感していただけるよう、ライフジャケットのレンタルステーションも併設します。

※なお、報道関係者様のご案内につきましては、後日別途いたしますのでぜひご来場を検討いただけますと幸いです。

#### 【概要（一般の方向け）】

イベント名	海のそなえ体験イベント 「海ロデオ」
開催日（期間）	7月31日（水）から8月2日（金）10時～16時
開催場所	神奈川県鎌倉市材木座海岸 目標建物 材木座テラス （神奈川県鎌倉市材木座5丁目8-25）
交通手段	・JR「鎌倉駅」・江ノ島電鉄「鎌倉駅」より徒歩20分 ・江ノ島電鉄「和田塚駅」より徒歩15分 ・鎌倉駅東口バスロータリー 7番乗り場より 鎌40（新湯子駅行き）または鎌41（小坪行き） 「臨海学園」下車徒歩9分、「材木座」下車徒歩11分
問い合わせ先（電話番号）	03-5275-5105（10:00～18:00 土日祝休）
料金	無料
予約・申し込みの有無	有（専用サイトよりお申し込みをいただきます）

対象者	小学校3年生から6年生程度を対象としています。 （ライフジャケットが適用する身長、体重に準じます）
内容	小学校3年生以上程度のお子さまを中心に、海のかとそなえの力を十分に体感できるオリジナル体験「海ロデオ」や、SUP（スタンドアップパドルサーフィン）、シュノーケリングなどの体験を通して、海のそなえを知識・行動・装備の面から学んでもらうイベントです。 ※本プログラムは海に入って実施いたしますので、あらかじめご承知おまください。 ※安全管理上、事前に安全に関する注意事項に関する同意書にご同意をいただきます。事前の同意をいただけない場合は、参加をお断りすることもございます。 ※中止の場合には前日の19時までに事務局よりご連絡します。

<イベントイメージ>



<お問い合わせ先>

「海のそなえソーシャルアクションプロジェクト実行委員会」 広報代理：岩瀬  
電話：080-1381-8713 メールアドレス：pr@green-media.org

日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として、次世代へ海を引き継ぐため、海を介して人と人がつながることを目的として、本事業を実施しています。

# ①海のそなえ体験イベント（3 / 3）

## その他メディア協力

鎌倉、横浜等を基盤とした子どもの遊びに特化した情報サイト「asobii」にて、サイト運営者より本事業に賛同いただき情報を露出していただいた。

海と日本プロジェクトで活動する、株式会社アクティより、サイト掲載のご協力をいただいた。

The screenshot shows the asobii website interface. At the top, there are navigation tabs for '横浜' (Yokohama) and '湘南' (Shonan). Below the navigation, there are icons for 'イベント' (Event), 'お出かけ' (Outing), 'ランキング' (Ranking), '市区別' (By City/District), and '特集' (Special). A main banner features a colorful illustration of children and surfboards, with the text '海遊びを「無料」でプロと体験！ウインドサーフィン、ボディボード、カヌー、シュノーケリングなどなど。初めての子に体験チャンスです【海のそなえ体験イベント「海ロデオ」：7月31日～8月2日】'. Below the banner, there are social media sharing buttons for Facebook, Twitter, and LINE. A section titled '無料でできる「海遊び」がたくさん' (Lots of things you can do for free) is also visible.

The screenshot shows the landing page for the 'Sea's So-nae Experience Event' (海ロデオ). The page features a large, colorful illustration of children and surfboards. Below the illustration, there is a section titled '無料で参加できる！海の遊びがたくさん！' (You can participate for free! Lots of things you can do in the sea!). This section includes a photo of children on a beach and text describing the event. The text mentions that the event is free and offers a chance to experience various water sports like windsurfing, bodyboarding, and canoeing. It also mentions that the event is held from July 31st to August 2nd. The page includes buttons for '申し込みはこちら' (Apply here) and 'イベントの詳細はこちら' (Event details here).

## 海と日本プロジェクト連携

<海と日本プロジェクト オフィシャルTwitterにて>

■ 2019年7月15日～7月20日にかけて「海のそなえ」関連の集中ツイートを実施  
→結果：インプレッション数 1,910,492

■ 8月7日に、「海ロデオ」のレポートツイート（モーメント投稿を実施）  
→結果：インプレッション数 39,987  
エンゲージメント総数 19,322

## ②自治体・学校連携（ライフジャケットの寄贈とそなえ講座）

### メディア向けご案内書

#### <来場メディア> ・読売新聞社



日本財団「海と日本プロジェクト」助成事業 海のそなえ推進プロジェクト

#### ライフジャケット贈呈式および “そなえ”を楽しく学ぶ「海のそなえ寄席&講座」実施

2019年12月17日（火）9時40分～11時00分  
鎌倉市立 稲村ヶ崎小学校

##### <実施概要>

海上保安庁等による発表資料によれば、海水浴に訪れる人は減っているにも関わらず海で亡くなる人の数は減っておらず、毎年30人ほどの子どもの命が海の事故で失われています。当会では、2018年、海難事故にかかる様々なデータの分析結果をもとに、海での事故を防ぐために必要なことを「海のそなえ」として海辺での実体験や商業施設でのイベント、雑誌などと連携して発信するなどして活動しています。

今夏は首都圏近郊の3ヶ所で、「海を正しく知り、正しくそなえば、海の魅力は広がる」ことを体感する、「海のそなえ」体験イベント「海口デオ」を開催し、延300名以上の親子が参加・体感しました。その活動の中で活用したライフジャケットを、安全の体験・発信にご賛同くださった連盟、事業者様、住民の方が多くいらっしゃる鎌倉市の小学校に寄贈することにいたしました。

この活動を通して、子どもたちや、教員、保護者の方々に海で遊ぶ際に必要な「そなえ」に対する理解を深めていただき、海にもっと親しみを感じてもらえるための一助となればと考えております。



##### 三遊亭 わん丈 氏（落語家）

滋賀県出身、2011年三遊亭円丈に入門。2012年4月前座となる。前座名「わん丈」。2016年5月二ツ目昇進。20歳から約7年間、福岡県内を中心にコンビのヴォーカルとして活動。また地元のラジオ番組のアシスタントDJを務めたことをきっかけに、自身で企画からパーソナリティまで勤めるラジオ番組や、イベントの司会なども行う。2010年、東京に訪れた際に寄席で落語に魅せられ、すぐに落語家になるため上京。滋賀県初の江戸落語家となる。年間1000席高座に上がり、その日の客層をみて自由自在に古典落語、自作の新作落語を採る受賞歴多数の実力派若手落語家。未来の落語界を牽引する落語家の一人。



##### 林 亮太氏（WATER SAVVY プロデューサー）

大学時代にライフセービングに出会い、鎌倉の海で10年以上ライフガードとして活動中。消防職員としても災害対応に従事してきたが、ライフガードとして水辺の事故防止活動に専念するため退職。現在は海水浴場やサーフィン、遠泳大会などのイベントの警備にあたりながら、海で安全に遊ぶための水辺の安全教室「WATER SAVVY」を全国へ広めるべく活動している。日本ライフセービング協会認定インストラクター、日本初・日本ストライカー（株）認定BLSトレーナー。海と日本プロジェクトでは、海と日本プロジェクトinかながわでの活動や、2019年夏に鎌倉材木座海岸での「海のそなえ体験イベント 海口デオ」にて、海を知り、遊ぶオリジナル遊び「海口デオ」の開発に寄与。イベント当日は、海口デオのチーフインストラクターもつとめ、多くの子どもたちに海の安全と魅力を伝えた。

日本財団「海と日本プロジェクト」助成事業 海のそなえ推進プロジェクト

#### ライフジャケット贈呈式および “そなえ”を楽しく学ぶ「海のそなえ寄席&講座」実施

2019年12月17日（火）9時40分～11時00分  
鎌倉市立 稲村ヶ崎小学校



##### 本日のスケジュール

時間	内容	担当
9:00	受付開始	
9:20	受付完了	
9:30	児童 教室入り	
9:40	「そなえ落語・講座」開催 ・ 実行委員会挨拶 ・ 落語の実施 ・ 講座の実施	海のそなえソーシャルアクションプロジェクト 実行委員会事務局 小川 森子  三遊亭わん丈氏（落語家） 林 亮太氏（WATER SAVVY）
10:20	クローニング ・ インタビューを受ける以外の児童は、次時間の ため移動 ・ インタビューは他児童の移動後、その場で実施	
10:30	・ 本館 校長室に移動	
10:40	ライフジャケット贈呈式 ・ ライフジャケットの贈呈（写真撮影） ・ 校長先生へのインタビュー（オフィシャル）	稲村ヶ崎小学校 磯部 久仁子 校長先生
10:50	・ 校長先生へのインタビュー（来場記者様）	
11:00	終了	

##### ※ご注意※ トラブル防止のため、以下の点順守くださいますようお願いいたします。

- ✓ 学校内部の撮影（教員、児童などの人物含む）は、指定された場所・時間以外では行わないようお願いいたします。
- ※インタビューする児童は学校の方で指定いたしますので、勝手にインタビューをされたいようお願いいたします。
- ✓ 記事に掲載いただく場合には、児童の個人が判別できるような写真、記載（名前など）はしないようお願いいたします。
- ✓ 学校への出入りは必ず、海と日本プロジェクトのスタッフと共に行ってください。勝手な出入りは控えてください。
- ✓ 校舎内を歩かれる場合には、必ず腕章またはストラップを着用ください。
- ✓ 防犯、安全上の理由によりお越しくださった記者様のお名前と所属は、小学校と教育委員会にも共有いたします。

## **7. 事業掲載媒体等**

# 事業掲載媒体一覧

## <海のそなえ体験イベント>

- TV： 3件（神奈川テレビ、埼玉テレビ、千葉テレビ）
  - 新聞： 1件（朝日小学生新聞（8月20日掲載））
  - WEB： 1件（ソーシャルイノベーションニュース）
- ※危険生物に離岸流。夏本番に向けて知っておくべき“海のそなえ”  
<https://social-innovation-news.jp/?p=959>



## 朝日小学生新聞（8月20日掲載）



## <ライフジャケット贈呈・海のそなえ講座>

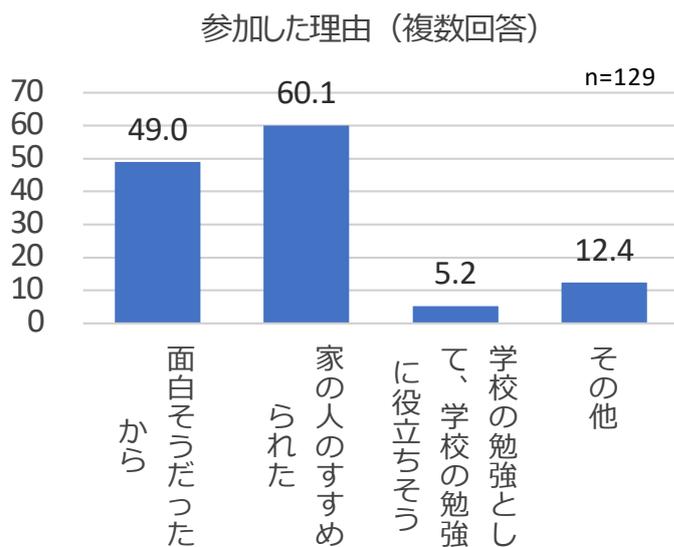
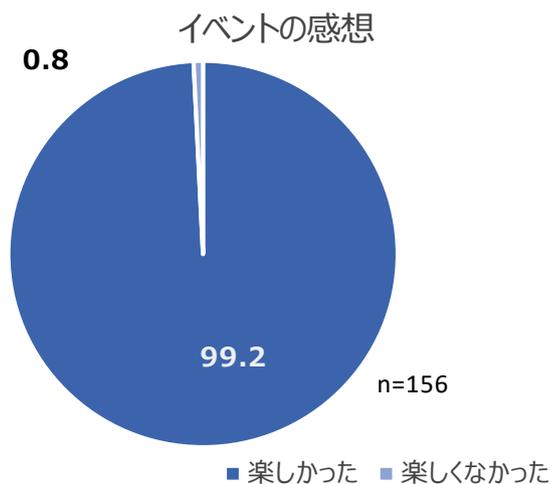
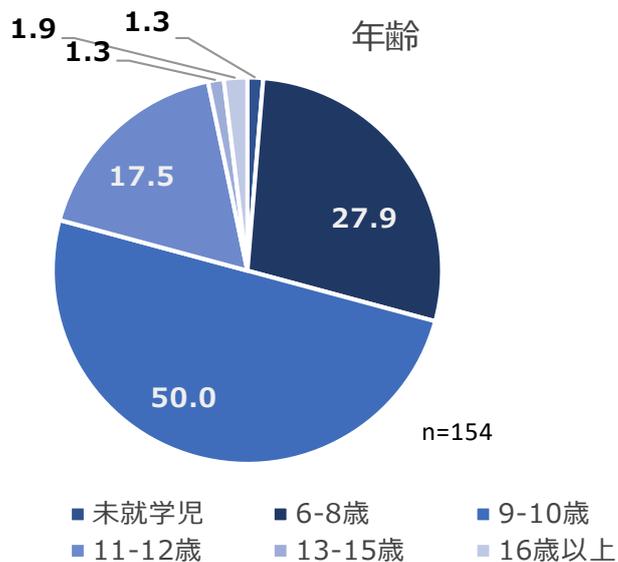
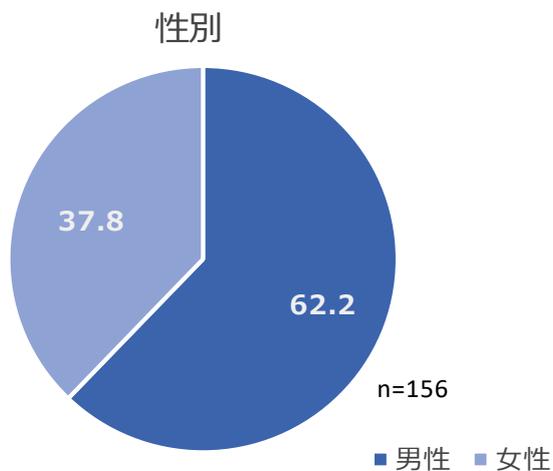
## 新聞：読売新聞（東京読売新聞 2 2面）



## 8. アンケート集計

# ①体験イベント

## ■ 子どもアンケート

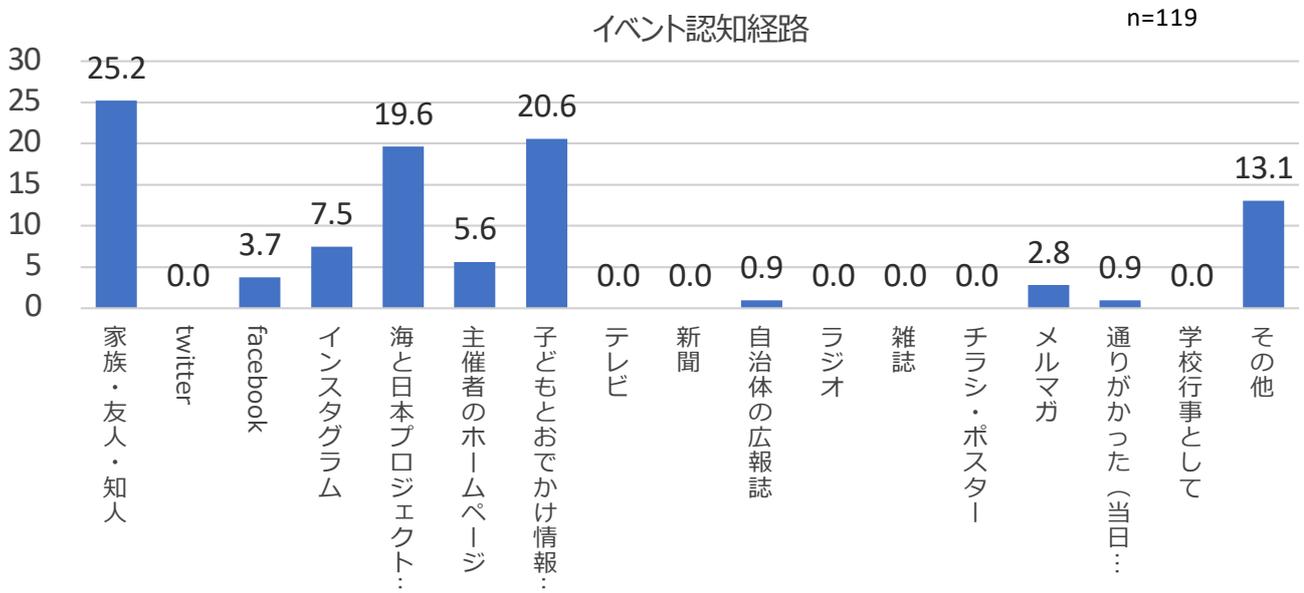
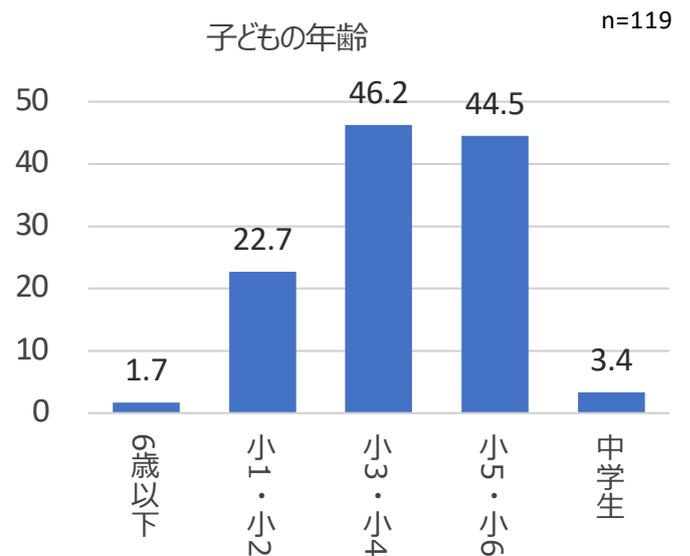
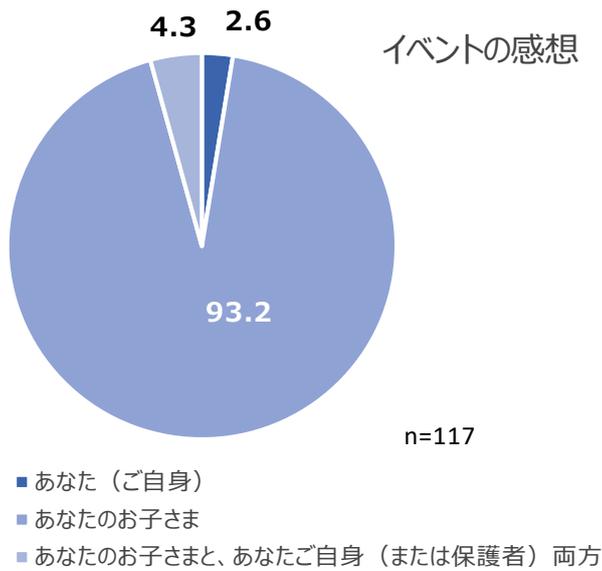
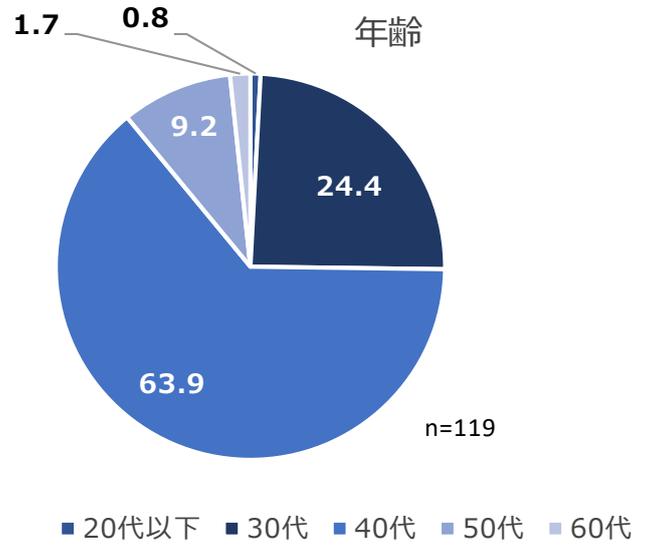
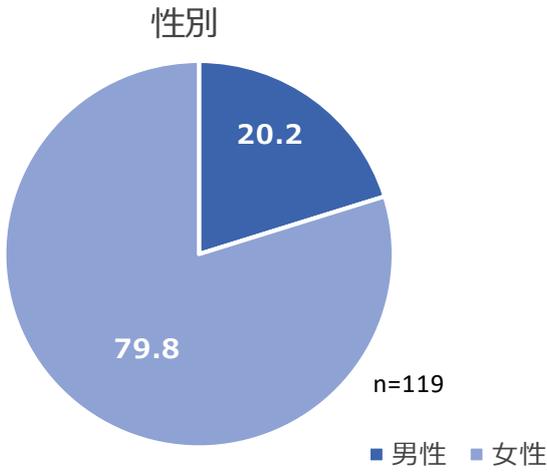


## ○ 参加した子どもの声

- 海の流れは、時間がかわるたびに、いっしょに流れがかわることを、知ってよかったです。
- なみはどんどんすなはまにちかづいてる。
- 波の方向がいろいろ変わるんだなということ。
- ふぐが、おきなわけんからきて、びっくりしました。
- 海のすなの色がちがう（いろんな海によって）など
- 思ったよりも海面は地上よりも圧力がかかった
- 鎌倉の海で、ウニがたくさんいることを知らなかったので、勉強になった。
- かんちょう、まんちょうで、水がくることがおどろきました。
- 波は、来たり、来なかったりするなあ今度はサーフィンやってみたい
- ボディーボードは、命を大切にして、前を見るのが知れてよかったです。
- うみでふかいところに行くときは、ライフジャケットをきていくとおぼれたときもたすかるとわかった
- はじめに書いた線が時間がたつと海にかくれて、おどろいた。
- 海は下はつめたくて上があたたかい
- 海は、プールよりうくとゆうことがわかりました。

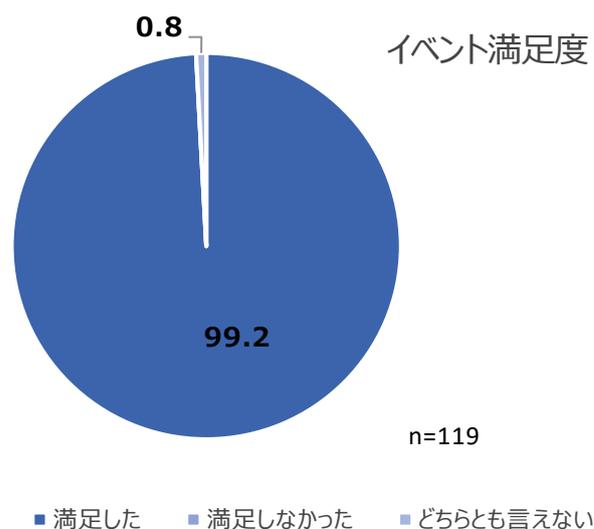
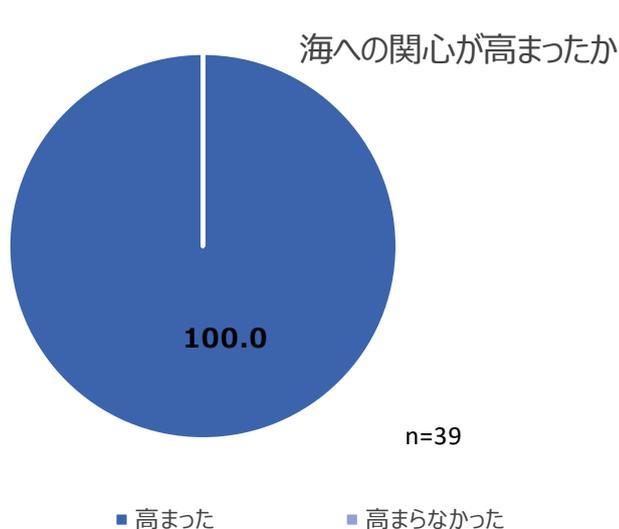
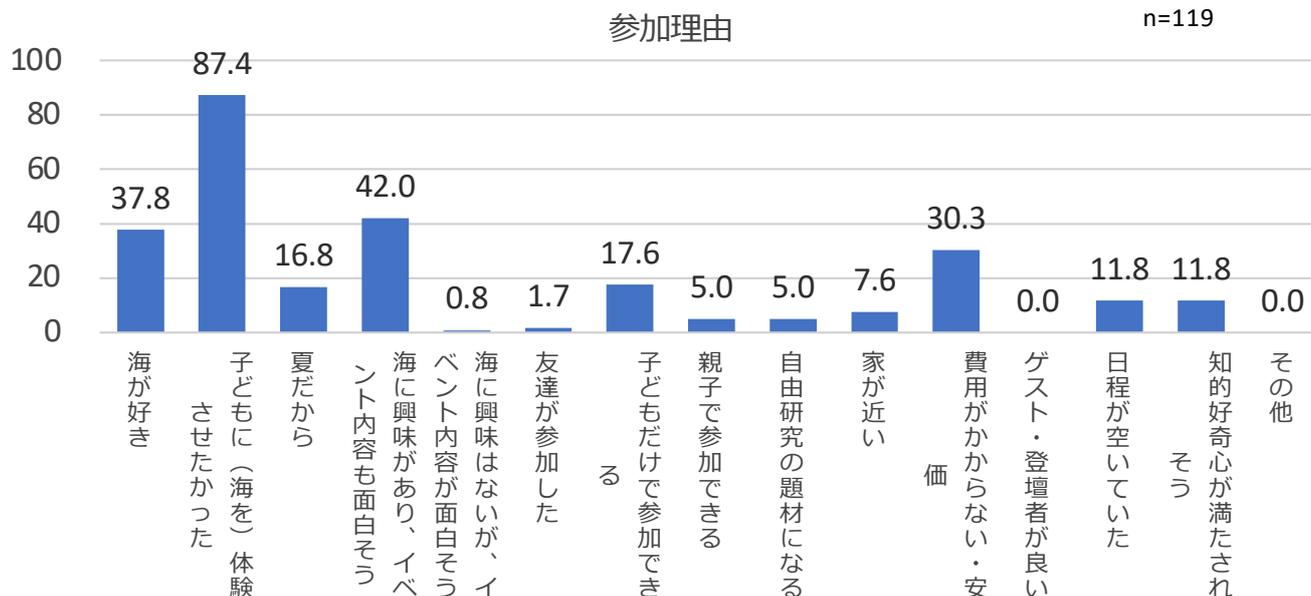
# ①体験イベント

## ■ 大人アンケート (1/2)



# ①体験イベント

## ■ 大人アンケート（2/2）

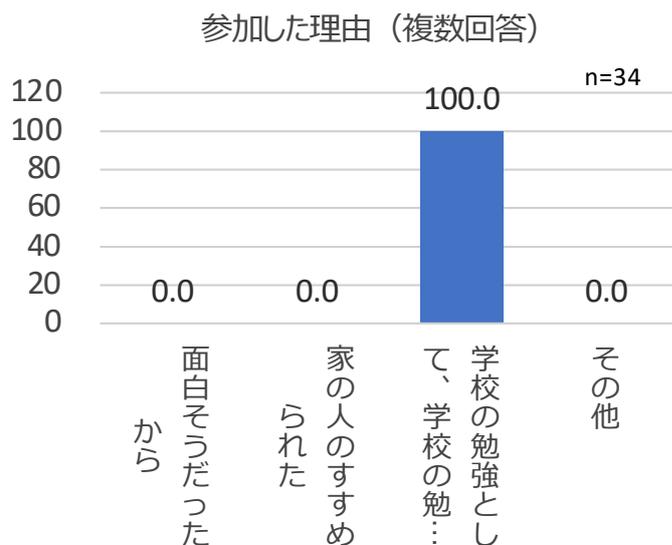
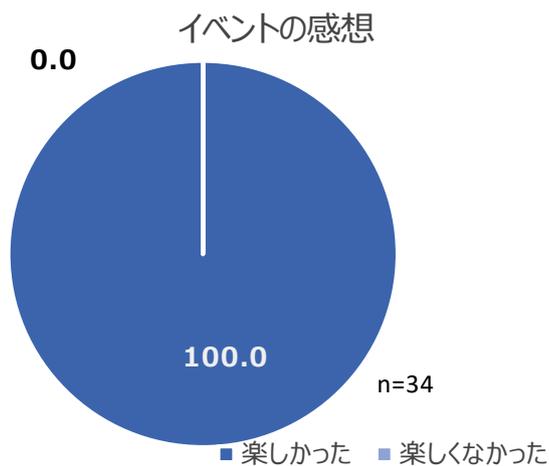
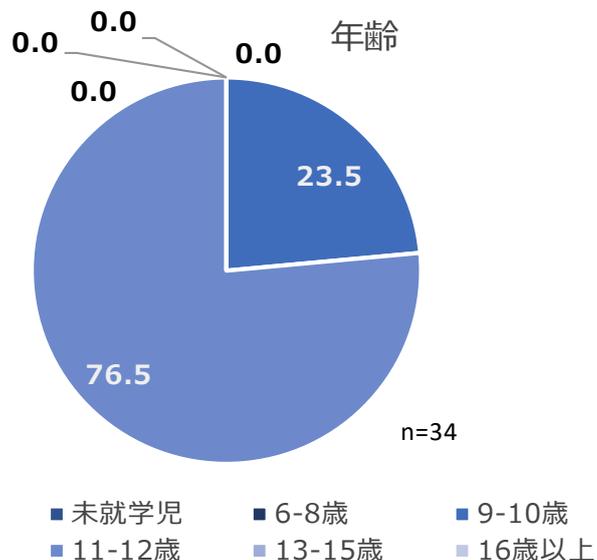
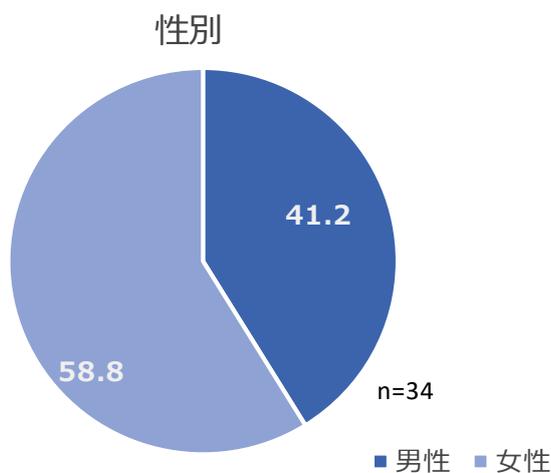


### ○ 参加した保護者の声

- リードしてくれるスタッフ、指導者さんがいるおかげで安心して海を楽しむことができた。海は怖いというイメージを払拭できたと思う。
- 都心から1時間半でもろんな海の生き物に会えるとは！子どものペースで海を楽しませてくれ、いろいろやさしく教えてくださいました。
- 海にもっと来たいと思っていましたが、自分自身が泳力に自信がないため、ボードをなかなか体験させてあげられませんでした。今回で子供も興味を持ち、もっと度々来させてあげようと思います。ゴミもなくすように協力していきたいです。
- 海の遊びで注意すべきことや知らないスポーツを親に代わって教えてもらえて、とてもよかった。
- 海は嫌いだったが、すごく魅力を感じた。
- 楽しみながら海のこと、自然のこと、安全を学ぶことができ、とても充実した時間となりました。親子の思い出となりました。スタッフの皆様ありがとうございました。

## ②海のそなえ講座@稲村ヶ崎小学校

### ■ 子どもアンケート



### ○ 参加した子どもの声

- ・ 落語の話が2つお聞けた。ライフジャケット つけたことはあったけど、色々な種類あるのは知らなかった。
- ・ 旗によってはいいですよ、など決まっているんだなと思いました。ライフセーバーはとっても重要な仕事なんだなと思います。
- ・ 初めて旗のことを教えてもらってよかったです。
- ・ ライフセーバーがどんな人なのかわかってよかった。これから海に行く時は気をつけたいと思いました。
- ・ 旗を探すこと、それに色までは見ていなかったの、来年アウトリガーカヌーをしたときや、海に行った時に探してみたいです。
- ・ 思ったことは、海の知らないことがあって、それを知れて嬉しかったのと、説明を聞いて飽きなかったしずっと聴いていられそう。「心配な時はなんでもきいてください」の一言がとても心に残りました。今度から旗が青の時は安心ですね。海のことを教えてくれてありがとうございました。
- ・ ライフセーバーの人は自分の体で海に入って、青、黄、赤を決めて、すごい勇気や体幹がすごいと思った。
- ・ ライフセーバーの役割、ライフジャケット の役割が知れてあったら話してみようと思った。
- ・ 黄色い旗の時は気をつけて入ろうと思った。旗をしっかりみようと思った。河口などの遊泳禁止なところは絶対に入らない。ライフジャケット の良さがわかった。
- ・ ライフジャケット で自分を守りたいと思いました

## 9. 考察

2019年度 海のそなえ推進プロジェクトでは、「そなえれば海は100倍楽しい」、そして子どもの安全を守るのはもちろん子ども自身の知識も重要だが、子どもを守る親、大人、教員など全ての人であるとして、親子、教員、大人全てのひとに「そなえ」の重要性を届けることができるよう、以下の事業構成で実施してきた。

## 海のそなえ体験イベント「海ロデオ」、ライフジャケット貸出の実施

## ライフジャケット寄贈及びそなえ講座の実施・自走支援（自治体・学校連携）

## 朝日新聞出版社との連携事業による親・育児世代への訴求

2019年度は、秋の気象不安定、台風の複数日本上陸により海の天候が荒れたこと、また2019年から2020年にかけては現在も世界で猛威を振るう、新型コロナウイルスの蔓延が重なり、中止、延長、交渉中断など、そう指定していた通りに事業を進めるのが難しい面も多いう年であった。

一方で、上記の通り全方的にかつ「イベント」「出版」「自治体・学校連携」と様々なレイヤーで事業を推進できたことで、海の事業者、子どもの安全に関する活動をする活動者、自治体・学校、メディア等様々な方面でつながりを持つことができた。結果、2020年度より開始された海の推進プロジェクトでは、引き続き鎌倉ライフガードのチームや、日本ライフセービング協会とともに、海ロデオ体験の自走や、各地への教材配布などにつながっている。

本事業における情報のリーチ総数は以下の通り。

- ✓ 体験イベント : 300名強
- ✓ そなえ講座 : 37名
- ✓ WEBアクセス : 6,772  
(4月から8月31日までの集計、2020年6月より運営は「海のそなえ推進プロジェクト」に移管されている。)
- ✓ AERA : 約87,000部 \*2回 (うち、1回は朝日新聞出版社の自主記事)
- ✓ AERA with Kids : 約40,000部



合計22万1千109人

### 2次的波及

- ✓ 読売新聞（東京）※公式発行部数 約526万部
- ✓ 朝日小学生新聞 ※公式発行部数 約10万部
- ✓ さいたまテレビ
- ✓ 千葉テレビ
- ✓ テレビ神奈川

ベースとなるコンテンツや、ネットワークを形成できたことから、今後様々なプロジェクトと連携してさらに広げていくことを想定している。